



ノリのいろいろ話 ～三陸のノリと千葉のノリ～



「ノリ」は私たちにとって最も馴染みの深い海藻のひとつです。今回は、ノリ研究の第一人者である菊地則雄先生に、ノリの不思議な生態や歴史、地球温暖化の影響などについて、最新の情報を交えて詳しくお話しいただきます。

3月8日 [火]
18:00～20:00
(17:30 開場)

参加無料・申込不要

※コロナウィルス感染拡大防止のため、
検温およびマスク着用にご協力ください。



講師

千葉県立中央博物館分館海の博物館
主任上席研究員

菊地 則雄 博士



会場・連絡先（主催）

〒986-0781 宮城県本吉郡南三陸町戸倉沖田69-2
戸倉公民館2階 南三陸町自然環境活用センター
(南三陸ネイチャーセンター)

tel : 0226-25-9703

※コロナウィルスの感染状況等により予定が変更となる場合があります。



ノリのいろいろ話 ～三陸のノリと千葉のノリ～

千葉県立中央博物館分館海の博物館

菊地 則雄

「ノリ」は日本人なら誰もが知っている海藻だと思いますが、それでは、「ノリ」ってどんな海藻か説明できますか？私はノリを中心とした海藻を専門とする研究者で、千葉県を中心に、全国のノリを調べておらず、東日本大震災の前、2006年と2008年には南三陸のノリも調査したことがあります。本講演では、「ノリってどんな生きものなの？」を知っていただくため、三陸地方と千葉県に見られるノリを中心に、日本のノリの種類や不思議な生態、また、江戸時代から養殖されてきたのに、今や絶滅危惧種となってしまったアサクサノリの現状などについても紹介します。また、今回、震災後初めて南三陸町で行ったノリの調査の結果や、近年の環境変化がノリなどの海藻に及ぼす影響などについてもお話しできればと思います。